

テレビ会議アプリで 西田社長が安全パト

大成ロテック

大成ロテックの西田義則社長は、全国10支社が施工する主要現場の安全パトロールを11日から開始した。新型コロナウイルスの緊急事態宣言を受け、現地に行かずにテレビ会議アプリを使って遠隔でパトロールした。在宅勤務の役員らも自宅からパソコンなどを使って参加した。パトロールは月末まで行う予定だ。

現場の安全対策が必要な

遠隔で現場の安全パトロール
を行う西田社長（写真右奥）



箇所などを現場の社員がスマートフォンなどで撮影し、西田社長らが遠隔でチェックした。西田社長は

「支社幹部職員の行動制限がある中でも、事故・災害を防ぐ目的での安全パトロールをないがしろにするわけにはいかない。ありとあらゆる手段を講じて現場支援に努めなければならぬ」と述べ、方法を工夫することでパトロールを確実に実施することを強調した。

高速道路修繕工事現場のパトロールでは路面切削作業時の重機と人との分離状況、工事車両の規制帯内への出入りや誘導員の配置状況などを確認・点検した。